

## 特集

# 労協連委託研究 2010年度報告書

## 「食と農と環境を結んだ仕事おこし」推進事業調査

### — 労協連合会委託研究、東京農工大学共同研究報告 — Part 1

#### 1. プロジェクトの目的と 本報告書の構成

2010年度、労協連委託事業「食と農と環境を結んだ仕事おこし推進事業」は、食・農・環境の「つながり」の中に協同労働の基盤を見出していくために、現地調査等を踏まえながら、農山村地域の再生の可能性と課題を整理することを目的に、2010年10月より研究活動を開始した。

2010年度は、東京農工大学農学部環境

教育学研究室(朝岡研究室)及び千賀裕太郎研究室と協同総研による共同研究「農山村の再生とコミュニティ・ビジネス・協同労働の可能性」(略称；農山村再生と協同労働の可能性、3カ年)の初年度と連携しての研究活動となった。

2010年度のプロジェクトに関する本報告書の構成は次のとおりである。なお、序章から第2章第2節までを本号に掲載し、第2章第3節以降を次号(2011年9月)に掲載することとしている。

序章 持続型地域建設における「協同労働」への期待	千賀裕太郎(東京農工大学大学院教授)
第1章 農山村再生と協同労働の視点	古谷 直道(協同総合研究所副理事長)
第2章 推進事業のための事例調査	
第1節 地域(集落)再生の事例	
〔1〕鳥取県智頭町・若桜町	田嶋 康利(協同総合研究所専務理事)
〔2〕千葉県長南町	小橋 暢之(協同総合研究所研究員)、青木 未知(労協連食農環境・産消連帯推進部)
第2節 食の事業モデル	
〔1〕とうふ工房事業	榎本 木綿(協同総合研究所事務局長)
〔2〕米粉パン工房事業(以上、本号)	島田圭一郎(協同総合研究所理事長)
第3節 農とWの接点(以下、次号)	
〔1〕ワーカーズコープ光	古谷 直道(協同総合研究所副理事長)
〔2〕しらたかノラの会	堀内 亮太(前東京農工大学大学院修士課程)、楠野 晋一(協同総合研究所研究員)
第3章 震災復興と協同労働	古谷 直道(協同総合研究所副理事長)
第4章 事例に対する評価	千賀裕太郎、朝岡 幸彦(東京農工大学大学院教授)
おわりに	田嶋 康利(協同総合研究所専務理事)

(所属は執筆当時のもの)

## 2. プロジェクトの経緯

◎共同研究準備会議(東京農工大学との共同研究準備会議)

7月22日、8月21日、9月28日。

◎共同研究総括会議(東京農工大学との共同研究会議)

10月13日(研究報告会)、10月28日、11月25日、12月17日、2月23日、3月29日、5月21日、6月14日、7月12日。

◎事務局会議(協同総研内会議)

毎月1回程度開催

◎講演会・研究会

- ・10月2日「日本の川文化と水辺のまちづくり - 自然と共生する循環型社会の構築へ -」: 33名参加

講師: 大熊孝氏(NPO新潟水辺の会代表世話人、新潟大学名誉教授)

- ・1月29日「農山村再生と協同労働の可能

性」: 21名参加

報告: 古谷直道氏(協同総研副理事長)、中本英宏氏(光中高年事業団)、疋田美津子氏(しらたかノラの会)

コメンテーター: 野見山敏雄氏(東京農工大学大学院農学研究院教授)

- ・5月21日「地域循環型エネルギー～小水力発電の可能性」: 33名参加

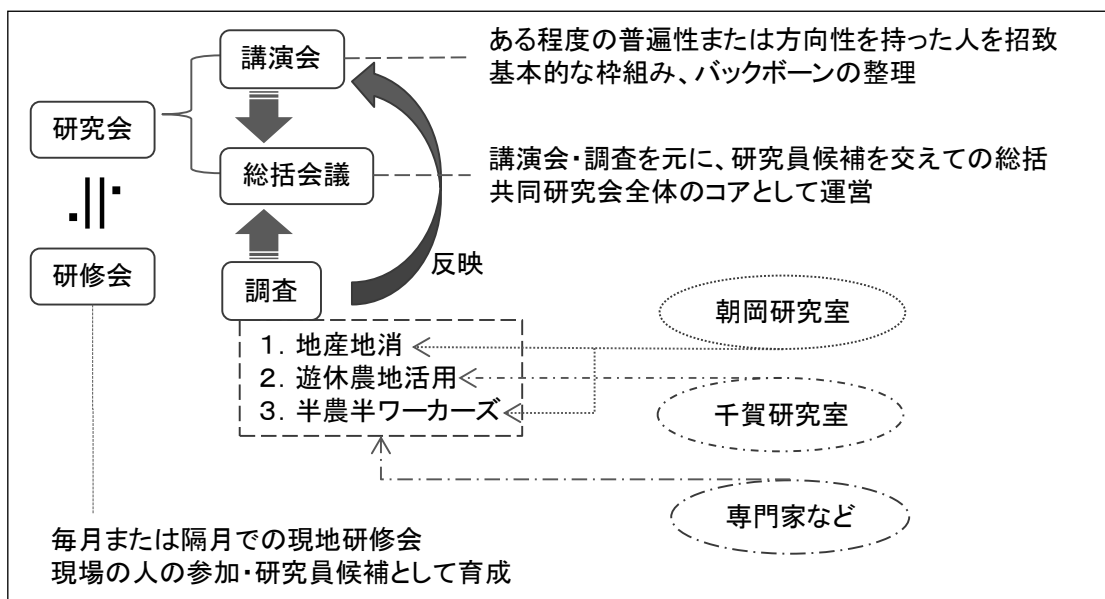
講師: 小林久氏(茨城大学農学部地域環境科学科教授)

## 3. プロジェクトの共同研究者

◎東京農工大学(敬称略)

千賀裕太郎(東京農工大学大学院農学研究院教授)

朝岡幸彦(東京農工大学大学院農学研究院教授)



山口良文(東京農工大学大学院水資源計画学研究室修士課程修了)

石山雄貴(東京農工大学大学院環境教育学研究室修士課程)

堀内亮太(前東京農工大学大学院環境教育学研究室、東京大学修士課程)

須賀貴子(東京農工大学大学院博士課程)

ジェイムズ・L・ドワイヤー(東京農工大学大学院環境教育学研究室修士課程)

孟蘭(東京農工大学大学院環境教育学研究室修士課程修了)

柏みどり(東京農工大学大学院水利システム工学研究室修士課程)

◎協同総合研究所(敬称略)

[研究員]

島田圭一郎(理事長)

古谷直道(副理事長)

小橋暢之(研究員)

楠野晋一(研究員)

青木未知(労協連食農環境・産消連帯推進部)

[事務局]

田嶋康利(専務理事)

榎本木綿(事務局長)

細越雄二(事務局)